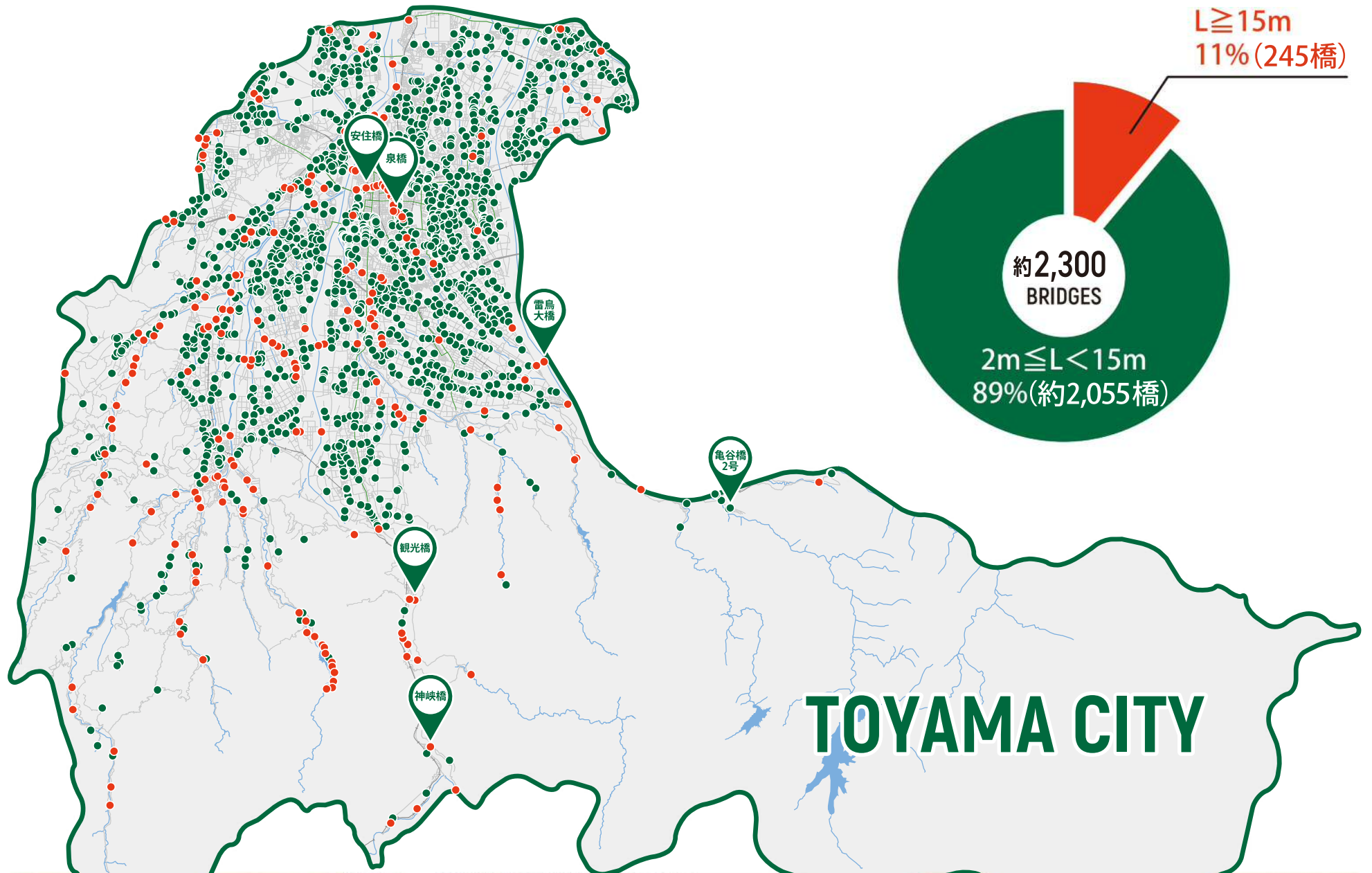




富山市には約2,300の橋があります。

※富山市道に架かる長さが2m以上の橋の数



かんこうばし
観光橋

橋長/186.0m 形式/単純下路式鋼ランガー
交差物/神通川 所在/大沢野地域



あずみばし
安住橋

橋長/16.0m 形式/RCアーチ
交差物/松川 所在/富山地域



らいちょうおおはし
雷鳥大橋

橋長/588.4m 形式/鋼3径間連続非合成版桁+箱桁
交差物/常願寺川 所在/大山地域



じんきょうばし
神峡橋

橋長/145.0m 形式/鋼ランガー
交差物/神通川 所在/細入地域



いずみばし
泉橋

橋長/19.1m 形式/PCホロー桁
交差物/いたち川 所在/富山地域

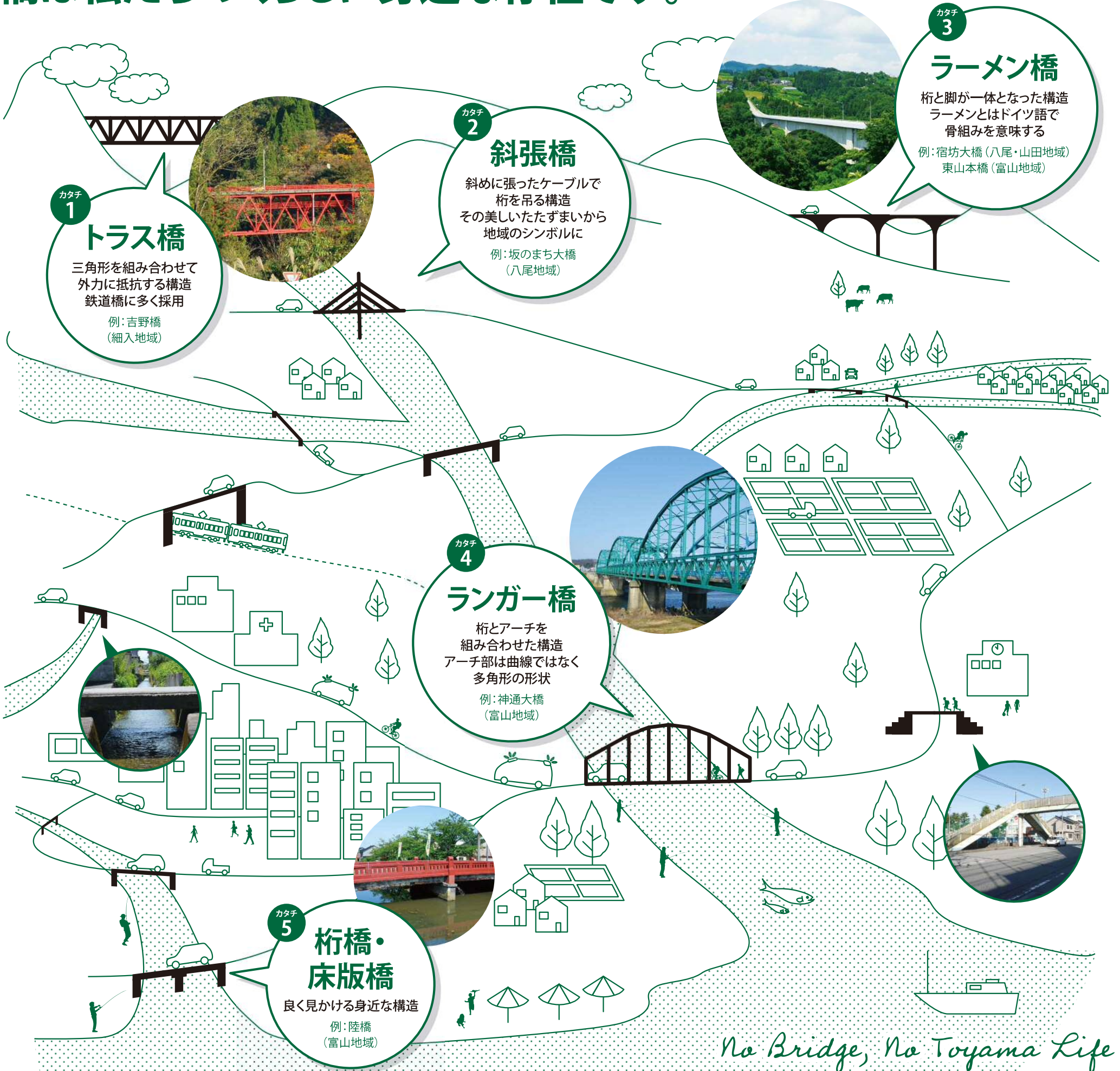


かめがいばし2ごう
**亀谷橋
2号**

橋長/5.4m 形式/RC床版
交差物/水路 所在/大山地域



富山のあちこちにいろいろな橋が架かっています。
橋は私たちの暮らしに身近な存在です。



No Bridge, No Toyama Life

ヤクワリ 1
川・水路をまたぐ

ヤクワリ 2
道路をまたぐ

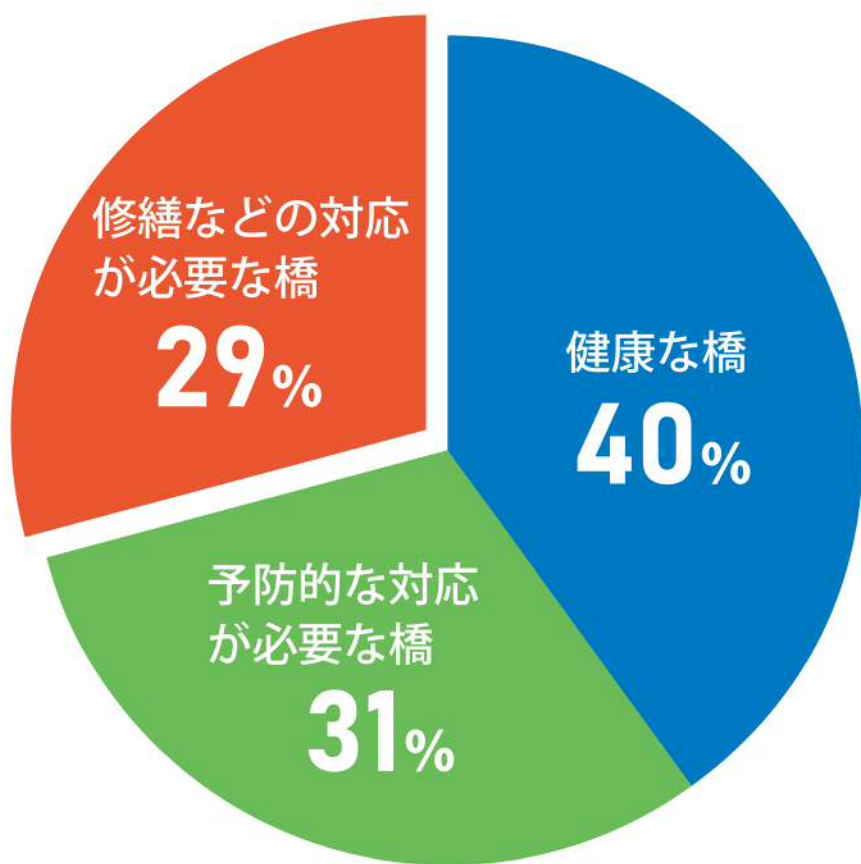
ヤクワリ 3
鉄道をまたぐ



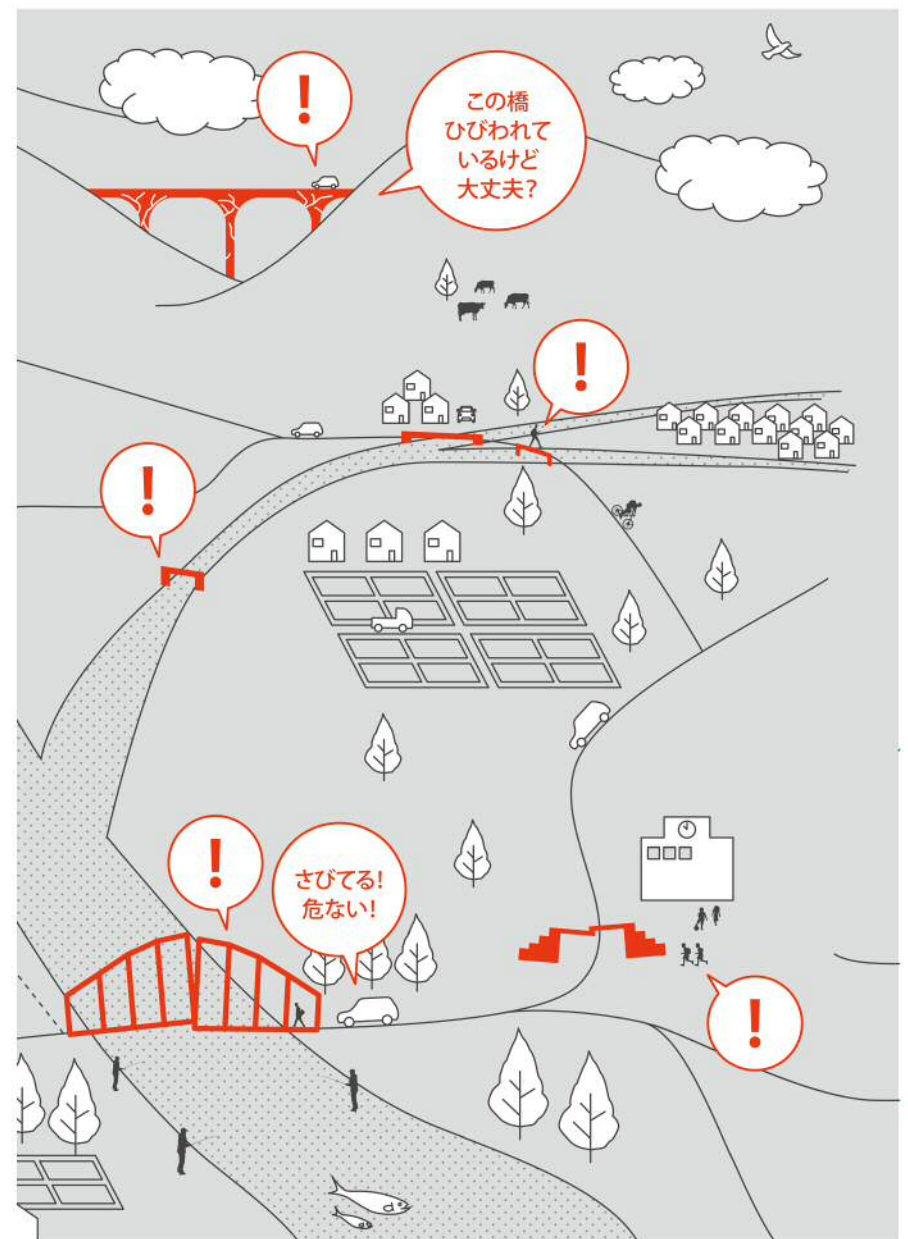
橋にも寿命があります。トシもとれば病気もします(老朽化)。

橋の寿命は一般的に50年から100年と言われています。橋も年を取り、病気(さび、ひび割れ、鉄筋のむき出しなど)にもなります。安全な通行を確保するためには、私たちと同じように、定期的な健康診断(点検)と治療(修繕、更新など)が必要不可欠です。現在、市内の約3割の橋が、修繕などの対策が必要であることが分かっています。橋の健康状態や役割を踏まえた計画的な対応が大切です。

橋の健康状態の割合



※橋の大きさ(面積)の割合



橋の病気は、いろいろです。治療では「どこが」「どんな病気か」、よく観察することが重要です。

▶ 鉄骨が…



さびる

▶ 鉄筋が…



むきだし

▶ コンクリートが…



ひびわれる

▶ 桁から…

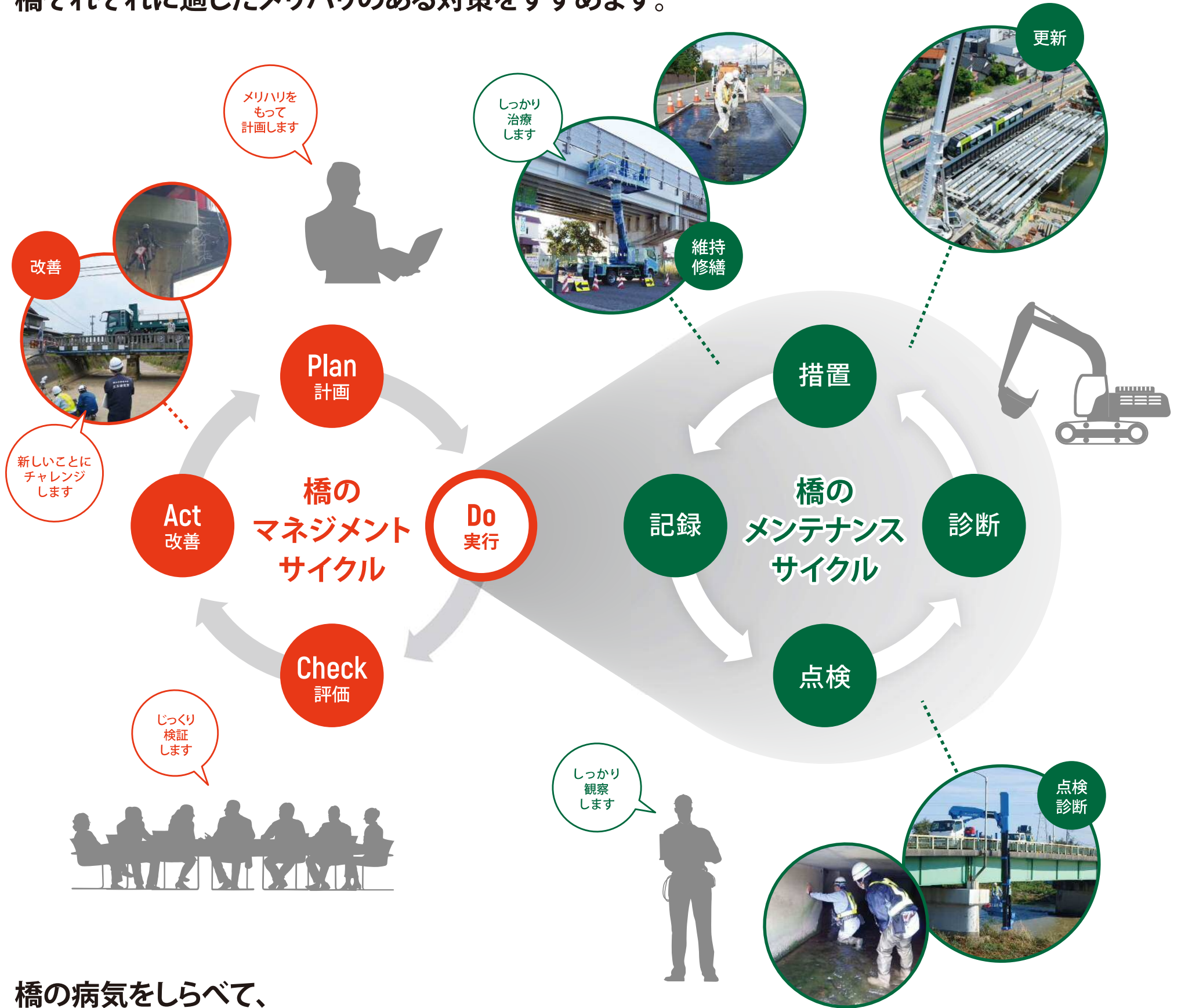


水がもれる



橋の老朽化への対応を持続的にすすめていくことが大切です。

富山市では、橋のかたち・ヤクワリ・健康状態から橋それぞれに適したメリハリのある対策をすすめます。



橋の病気をしらべて、病気の状態にあった手当てをします。

▶ 鉄骨を



ぬりかえる

▶ 鉄筋を



ふさぐ

▶ コンクリートを



ふさぐ

▶ 舗装を

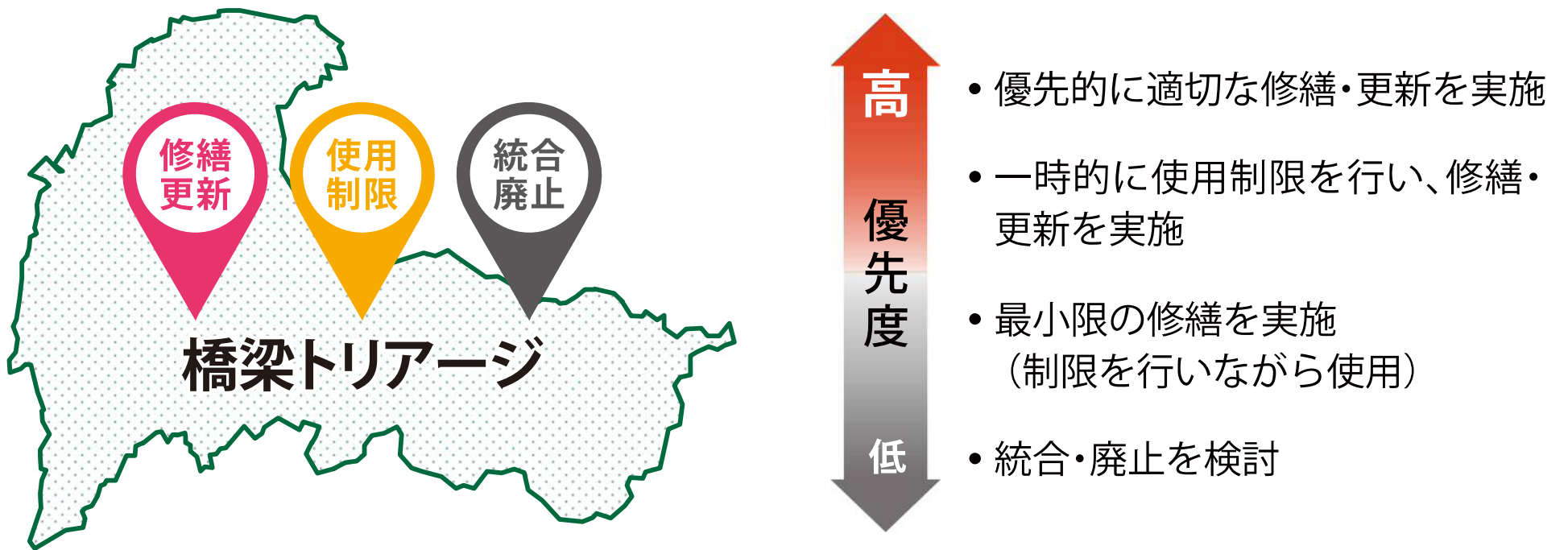


やりかえる



持続的かつ適正な橋梁マネジメントの実現に向けて 修繕・更新の優先度を設定します。

都市の骨格となるような橋はもちろん、利用者が少なくとも住宅や公共施設へ行くための唯一の橋など、日常生活や経済活動を営む上で必要性の高い橋は、積極的に修繕や更新を行います。一方、修繕が追い付かない場合などは、使用制限や統合・廃止を含めた対応を行うなど、選択と集中によるメリハリのある対策を進めます。



新たな技術を積極的に導入します。

民間等との連携を図りながら、センサーで橋の状態を監視するシステムの導入を進めています。急激な変化や損傷の拡大などを把握し、安全な通行を確保するために活用します。



▲センサーの動作確認
(国立研究開発法人 土木研究所との実証実験)



異常を検知



遠隔で監視

早急な対応を実施

使用中のリスク回避